

# 市政を問う 一般質問

## 一般質問とは

議員が議案以外に市の行政全般にわたり、市長や教育長などに説明や報告を求め、また所信をただすことです。適正な行政運営を行う上で、その役割は重要です。ここでは、23人の議員からの質問のうち、1人3件までその要旨を掲載しました。

- (政和) = 政和会
- (公明) = 市議会公明党
- (フォ) = フォーラム小平
- (生ネ) = 生活者ネットワーク
- (共産) = 日本共産党小平市議団
- (市自) = 市民自治こだいら

## 行政一般

### 市民に使いやすい公文書管理を

苗村洋子議員(生ネ) ①文書管理規程の課題は。

②文書管理のあり方を見直す考えはあるか。

③市民に使いやすくするにはどのような改善が必要か。

市長 ①電子文書の管理である。②国の公文書等の管理に関する法律の審議状況等を踏まえながら、検討していきたい。

③市政資料コーナーに公文書の目録を備えているが、内容や利便性の向上について引き続き研究していきたい。

### 2つの財政白書と今後の小平市の財政について

佐野郁夫議員(政和) ①市民版財政白書への市のかかわりは。

②市民版財政白書の評価は。

③市の財政の課題は。

市長 ①財政資料の提供や説明など十数回のやり取りを行い、積極的に協力してきた。

②丁寧な分析されており、今後も市政に貴重な意見をいただけるものと期待している。

### 2つの財政白書



### は各視聴者の自己負担等により対応していくものと考えている。市としては国や都と連携し、必要な対応に努めたい。

### マンIFESTの施策化には職員とどのような調整が必要か

橋本久雄議員(市自) ①職員との調整状況は。

②国分寺市立図書館の小平市民の利用について、その後国分寺市に変化があったか。

③予算編成方式の見直しについて、市民参加は考えていないという方針を変更したのか。

市長 ①各所管で対応方針を検討し、市の施策として位置づけを進めることとした。

②大きな進展はないが、今後さらに調整し、実現に向けて検討していく。

### 多摩北部都市広域行政圏に期待するもの

宮崎昭夫議員(政和) ①広域行政圏協議会の課題は。

②鉄道の立体交差化等を鉄道会社や都、国に働きかけるなど協議会活動はできないか。

③農地等の緑の保全対策は。

市長 ①交通基盤の整備・改善、医療体制の充実、地域産業の振興などが主な課題である。

②多摩北部地域は連続立体交差化や都市計画道路の整備が求められているため、都などへの要望等は可能と考える。

③東京都市長会からも都に要望しているが、協議会として働きかけを行うことは非常に重要と考える。

## 教育・文化

### 江藤俊哉ヴァイオリンコンクールの終了について

宮寺賢一議員(政和) ①終了はいつ決定され、公表されたか。

②コンクールの評価は。また、終了時の市民等の反応は。

③コンクールにかかわる芸術文化の発信策は。

市長 ①本年1月に決定し、5月の受賞者演奏会にて公表した。

②若い音楽家に飛翔の場を提供し、音楽文化の普及向上に寄与したと認識している。また、終了を惜しむ声があった。

### 第11回江藤俊哉ヴァイオリンコンクール本選審査会



### 所に予定しており、その後も計画的に設置していく。電力は照明等に利用し、余りは売電を予定している。

### 教育長 ②地上デジタル対応のテレビは小学校に27台設置しているが、中学校には設置していない。電子黒板は近隣大学との連携事業により6台が貸与されている。今後はさらなる地上デジタルテレビやコンピュータの配置を検討していく。

※ICTとは 情報通信技術のこと。

### 大学との連携・協働で新たなまちづくりを

岩本博子議員(生ネ) ①大学との連携・協働の可能性は。

②新たな分野での連携の可能性を探るための仕掛けは。

③地域に開かれた大学となるような働きかけが必要では。

市長 ①大学は地域社会の知識や文化の拠点であり、文化振興、地域経済の活性化、まちづくり等の面で連携できると考える。

②本年度から地域連携や協働の取り組みについて、さらに情報や意見の交換を行いたい。

③公開講座は市報に掲載し、一部の大学とは地域連携協力協定を締結しているが、今後も協議をしていきたい。

### キャリア教育推進事業をさらにPRできないか

石毛航太郎議員(フォ) ①推進事業の現状と課題は。

②受け入れ事業者をどのように探し、募集しているか。

市長 ①ICT化整備の現状は。

立花隆一議員(公明) ①小・中学校への太陽光発電の設置や利用状況は。

②ICT化整備の現状は。

### ③市民への周知方法は。教育長 ①市内外の事業所や公共施設等で職場体験を実施している。課題は受け入れ事業所の確保と負担の軽減である。

②市内の受け入れリストや保護者等による事業所の開拓等で探している。本年度は小平商工会の会報に募集依頼のチラシを入れてもらう予定である。

③市報、ホームページに掲載し、受け入れ事業所ではステッカーを張るなどで周知している。

### 中学生の職場体験について

川里春治議員(政和) ①昨年度実績と今年度の予定数は。

②職場体験を受け入れる事業所の現状は。

③これからの進め方をどう考えているか。

教育長 ①昨年度の参加生徒数は1千2百3人、本年度の参加予定生徒数は、1千3百44人である。

②昨年度の受け入れ市内事業所数は延べ348か所、受け入れ中学生の職場体験(キャリア教育推進事業)(市役所にて)

事業所の確保、拡充については毎年苦慮している。

③キャリア教育の推進に有効と考えており、事業の充実を図っていきたい。

### スクールソーシャルワーカーの活用で支援はどう変わるか

岩本博子議員(生ネ) ①必要となった背景は。

②期待する効果は。

③カウンセラーとの分担は。

教育長 ①家庭や地域社会などさまざまな環境の中で問題を解決しなければならぬため導入された。

### 事業所の確保、拡充については毎年苦慮している。

③キャリア教育の推進に有効と考えており、事業の充実を図っていきたい。

### スクールソーシャルワーカーの活用で支援はどう変わるか

岩本博子議員(生ネ) ①必要となった背景は。

②期待する効果は。

③カウンセラーとの分担は。

教育長 ①家庭や地域社会などさまざまな環境の中で問題を解決しなければならぬため導入された。

②不登校児童・生徒の出現率の減少や学校と家庭、関係機関との連携強化、教職員の指導力向上が考えられる。

### 子どもも貧困から守れ

木村まゆみ議員(共産) ①準要保護基準を生活保護基準所得の1:1倍から1:5倍にしては。また、その場合の試算は。

②制服等の負担改善は。

③鍵盤ハーモニカ等は学校の備品として貸し出しては。

教育長 ①現在の所得倍率は、26市中13位に位置しており、見直しは考えていない。また、正確な試算は困難だが、約30%の予算増加が見込まれる。

②過剰な取り扱いは自粛するよう学校に指導していく。

③共用に不適宜なことや家庭学習でも使用することなどから備品にはなじまないと考えている。